

平成23年度第2回安曇野市スポーツ推進審議会 会議概要

| | | |
|-----------|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | スポーツ推進審議会 |
| 2 | 日 時 | 平成24年1月27日 午後7時00分から午後8時20分まで |
| 3 | 会 場 | 豊科公民館 大会議室 |
| 4 | 出席者 | 下里会長・青嶋副会長・西村委員・中田委員・丸山（順）委員・黒岩委員・丸山（義）委員・沖委員・臼井委員・宮島委員 |
| 5 | 市側出席者 | 赤羽課長・青柳係長・中島主査・塩原主査・市川主査 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成24年2月2日 |
| 協 議 事 項 等 | | |
| 1 | 会議の概要 | <p>(1) 開 会 (課長)</p> <p>(2) あいさつ (会長)</p> <p>(3) 協議事項</p> <p>① 体育施設の定期休館日について</p> <p>② 委員任期について</p> <p>③ 施設整備について</p> <p>④ 大会出場補助金について</p> <p>⑤ 中学校部活動について</p> <p>(4) 閉 会</p> |
| 2 | 審議概要 | <p>(1) 体育施設の定期休館日について（事務局より説明）</p> <p>(事務局) 一部の地域にある体育施設の定期休館日について廃止を検討していたが、節電のこと、他の公共施設との調整、利用者の意見の集約が不十分という意見もあり見送ることとした。いずれは月曜も開館し、スポーツの振興、施設の有効活用につながるようにしたい。月曜が休館で不便に感じたり、そういった声を聞いたことがあるか聞きたい。</p> <p>(委 員) 豊科は施設が空いてないということで月曜日も開館になっている。他の地域の利用率はどうなのか。あふれるようであれば、月曜日も開館したほうが良いと思う。</p> <p>(事務局) 夜の7時から9時は、かなり埋まっている状況にある。調整し合って使ってもらっている。</p> <p>(委 員) メンテナンスをすることが第一優先だと思う。利用希望する人が多いのは十分分かるが、開放するにしてもメンテナンスの日は必要なので、通年で休館日をなくさなくてもいい。維持管理という面で休館日は、多少は必要なので検討して欲しい。</p> <p>(事務局) まったく休みがないということではなく、施設整備のために休館にすることは可能である。</p> <p>(委 員) 都市公園の三郷文化公園体育館の利用料金を他の社会体育施設と合わせて欲しい。</p> <p>(事務局) 以前に合わせようと試みたがうまくいかなかった。どういう方法がよいか研究中である。</p> <p>(2) 委員任期について（事務局より説明）</p> <p>(事務局) 委員の皆様の任期が2年で3月末までとなっている。今後のことはまた相談させていただく。職名でお引き受けいただいている方については、後任の方への引継ぎをお願いする。 (意見なし)</p> |

協 議 事 項 等

(3) 施設整備について(事務局より説明)

(事務局) 県民豊科運動広場などの施設整備や新施設の建設について計画、検討している。

(会 長) 何か意見があったら出して欲しい。

(委 員) 大規模改修を検討している県民豊科運動広場と穂高会館の関係で使用不可能になる期間は、いつごろからいつごろまでかを事前に明らかにして欲しい。いろいろ計画をたてる上で必要になるのでお願いしたい。経費もかかることで難しいとは思いますが、施設の名称がでてくるだけですぐできるような期待をもってしまう。実際は20年くらいかかるとも思う。その辺の長期の見通しをたててもらって、みんなが納得できるような優先順位に基づいて進めてもらう。大きな構想を示してもらいたい。それがあれば、いろいろな要望がある中、ある程度、理解してもらえと思う。

(会 長) 時期的なものは、はっきりしているのか。

(事務局) グラウンドについては、できるだけ冬場に施工をしたいが、まったく利用に差し障りがないというのは難しい。

(委 員) 今ある施設は、安曇野市になってから建てられたものはない。旧町村時代のもので、町村レベルの規模の使用を基にして考えてある。全市的なもの、県レベルの大会を開催するには、地域の体育施設では小さくてどうにもならないという声がある。そういったことも考慮した施設整備をして欲しい。

(委 員) 安曇野市であるレベルの大会を開催するとき観客数を考えると穂高以外は開催できない。工事に入るまでに利用者の意見を聞いて欲しい。トイレ、更衣室、シャワー室、トレーニング室を改修して、大会で聞かれても困らないようにして欲しい。

(委 員) 卓球の場合、穂高総合体育館だと24台並べられる。全国大会だと50台ぐらい並ぶ。長野県で全国大会ができるのは、ホワイトリングかエムウエーブで松本の体育館でもできない。そこまで必要かどうかは別にして、体育館を造るとしたらそういうことまで考えて欲しい。梓橋の下のグラウンドは、増水により2回も削られているので対応したほうがいいと思う。

(事務局) 県民豊科運動広場については、まだ、確定ではないが、24年度に設計と工事を予定している。豊科には、県民豊科運動広場しかないの、運動会が終わるまでは進められない。それまで実施設計をして11月くらいから工事と思っている。5月くらいまでには、ナイターソフトボールも始まるので完了したい。穂高会館は、耐震診断はしたので、耐震補強、改修をしなければならない。市民検討会議で支所は現地建て替えが望ましいということが新聞にも載っていて、まだ、はっきりしていない。まちづくり計画の中で公民館とまちづくりは、ワンフロアでやるのが決まっている。この辺が決まらないと改修にも入れないのが現実である。改修にあたっては、関係するみなさんの意見を聞かなければならないと思っている。また、相談する機会もあろうかと思うので、よろしくをお願いしたい。長期の見通しを含めて構想を示して欲しいという意見については、それぞれの施設の役割をきちんと見直して、どうしたら大きな大会を持ってこられるか、この辺もきちんとした計画をたてていかなければならないと思う。

(委 員) 利用する人たちが使いやすいグラウンドにすることが第一前提である。冬場の仕事のしづらいつきに施工がいいのか不満である。いいものができるなら、1年だけ我慢すればいいわけで、どうせお金をかけるならいい時期に造ってはどうかと思う。

協 議 事 項 等

- (委 員) 観客席があるのは、穂高、堀金、三郷である。穂高会館は、使っているみなさんの声を聞いて、備品も含めてある程度きちんとした整備をして欲しい。
- (事務局) 先ほど話のあった梓橋のグラウンドは、国から借りている場所で簡単には手がつけられないのが現実である。5月に削られたときも千曲川河川事務所で十字ブロックを置くなどして手をかけてくれたわけだが、大水がでればどうしても削られてしまうので、改善していかなければならないとは思っている。
- (会 長) お金がかかることで頭が痛いところだとは思いますが、市民の要望に応じてきちんとした整備をして欲しい。
- (3) 大会出場補助金について(事務局より説明)
- (事務局) 市には、県予選会を勝ち抜き、北信越等のブロック大会以上の大会に県代表として各種競技会に出場する場合に補助制度がある。現行の制度では、実情にそぐわないケースが見受けられるので、意見を聞きたい。
- (委 員) 過去3年くらいどのくらいの支出があるのか。
- (事務局) 70万から80万くらいである。
- (委 員) 今後も継続して補助する予定なのか。
- (事務局) 補助していく。
- (委 員) 平等に出してやるべきだと思う。現行、全国大会に行く場合、個人だと1万円で団体だと3万円であるが、団体4人でいく場合、個人の積算だと4万円になる。補助金はだんだん小さくしていこうというときに膨れ上がっていく発想はどうかと思う。廃止しろということではないが、安曇野市を代表してがんばってきてくださいという気持ちだから、一律5千円でも1万円でもいいと思う。枠を広げすぎて長続きしないことが心配である。
- (事務局) 他の市町村でもなんらかの形で補助している。スポーツ振興のうえでも継続したい。補助金というやり方が適当なのかは考えなければいけない。今回、提案したのは、現行の補助金制度を補うものである。今の話のように激励金、祝金というほうがより適切だという考えがあるのも分かる。
- (会 長) 北信越や全国大会はたくさんあると思うが。
- (事務局) たくさんある。回数制限をしていないので、同じ団体でも要件を満たしていれば、年何回も補助するケースもある。
- (委 員) 申請しなければもらえないということか。
- (事務局) そうである。全部を把握するというのは不可能なので申請方式である。
- (委 員) 見直しするのは予算が厳しいからなのか。
- (事務局) そういうことではなくて要綱と合致せずに補助できないケースがあるので変更してはどうかということである。
- (委 員) 松本市でも該当するということであれば、両方で補助を受けられるということをどのように考えるのか。実態からシミュレーションしたときにどうなのだろうかと思う。できるだけ補助してあげたいというのは分かるが、本当に厳密にできるのか。制度をまだ知らない人やニュースポーツのような種目でも大会が開催され、ますますこういうことが増えてくることは十分あると思う。これらを全部網羅したときに7、80万で大丈夫なのか懸念する。いつまでに見直すのかも含めて具体的に詰めなければいけないと思う。
- (委 員) 個人でも団体でも補助ということだが、2重にできることはないのか。
- (事務局) 同一大会で個人戦、団体戦に出てもどちらか一方である。スポーツを振興するうえで検討していく時期にきていて、こういう例はどうかという提案である。

協 議 事 項 等

- (委 員) いつごろまでに見直すのかはっきりさせて欲しい。
- (委 員) 補助金等交付規則ということは、明細をつけなければいけないのか。
- (事務局) そうである。
- (委 員) それも手間だと思うので簡易にしたほうがいい。どのみち、全額補助というわけではないと思う。
- (委 員) 資料を整えたりするのが大変である。1種目で全部申請すれば50万円という数字になりかねない。手続きが大変で申請しないケースもある。実情にあった生の声を聞いてもらう中でいい方向にあって欲しい。そしてできるだけ幅広く、いい形でみんなに還元できるようなことをここ1、2年の内には新しい方向にもってあって欲しい。具体的に何年度を目途にやって欲しいという数字をだして欲しい。
- (委 員) 小中学生は違う規定があったと思うがどうか。
- (事務局) 学校で出場する場合は別の規定による補助がある。
- (事務局) 同一種目で予選会を勝ち抜いて北信越に出ることは、年間30とか40になるのか。
- (委 員) 十分にある。3、4人強いのがいたら考えられる。
- (委 員) もらっている人に失礼だが、過去にどの団体にいくらしているか調べれば分かると思うけど、競技ごとにいろいろある。レベルがあって行きやすい大会、行きにくい大会もある。その辺のところを補助金として出すなら明確にしたほうがいい。市長に表敬訪問して激励の言葉をもらって、そのことが新聞に載って広まることのほうがうれしくて、ただ大会に出てお金もらうのは寂しい。
- (委 員) 補助金をもらうまでに時間がかかる。お金をもらう前にあいさつには行きにくい。簡単にできる方法を考えて欲しい。
- (事務局) 補助金でルールに則ってやっていることなので、理解して欲しい。
- (事務局) この要綱も合併時に制定されてそのまま運用されてきた。いろいろな意見をうかがって、もう少しいろいろと考えていかなければならないという思いを新たにされた。期限等を明確にしながらか、また、意見をいただきたいので、協力をお願いする。
- (5) 中学校部活動について (事務局より説明)
- (事務局) このことは、現況を理解しておいて欲しいという内容である。中学校の部活動が校長会の申し合わせ事項により時間、土日の練習などに一定の制限がある。部活のように先生が指導しているが、部活でないという活動が盛んに行われている。中学生が活動する場としてバックアップしてあげたいと思うが、社会体育団体と明言している以上、他の団体と差をつけるわけにもいかないというところで苦慮している。
- (委 員) 最後の「部活動の適正な実施について苦慮している」のところを部活動ではなく社会教育関係団体が正しいと思う。
- (6) その他
- (委 員) 三郷のJA温支所の体育施設の網戸が壊れている。どこに話せば直してもらえるのか。
- (事務局) また、確認して答える。